

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和 2年 3月 9日

事業所名 放課後等デイサービス 喜び

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		学習と活動スペースを分化している。個室での個別対応を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		指定基準を満たした職員配置となっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		事業所内がバリアフリー化している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		ミーティング、全体会議、支援会議で意見交換をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		アンケートを実施し、業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	現在、未実施。	今後は外部評価を取り入れ、業務改善に繋げていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修に参加している。また、園内研修も実施している。	施設内研修の場を増やし、職員全体の知識の向上に繋げていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		半年に一度個別面談を実施し、アセスメントを行い、子どもの状況、保護者のニーズに基づいて支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		個々に合わせたプログラムを、その都度支援会議にて検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		職員全体で話し合い、行事が被らないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		1日の利用時間が長い日は、前もって全員で出来るような課題を用意し、活動している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎朝、ミーティング時に確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		その日の内に振り返りは難しいが、次の日のミーティング時に必ず行っている。	行事や活動終了後に、振り返りを行い、次の支援や改善に繋がるようにしていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		業務日誌、支援経過記録を整備し、情報共有を図っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		個別支援会議にて、話し合い、定期的に見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児発管、個別担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校より毎月のおたよりを頂き、下校時間や行事の確認をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>		該当する児童がいないが、今後必要に応じて連絡調整を行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		<input type="radio"/>		事前に保育所等に訪問したり、支援会議に参加し情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>		保護者の同意を得た上で、卒業後の移行先に情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		<input type="radio"/>		専門性を高める為、必要な研修等に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		夏祭り実施時、児童クラブの児童や地域住民を招き、交流をした。	今後も児童クラブの児童との交流の機会を計画中。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		子ども部会の研修・連絡会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		送迎時等で子どもの様子について伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者からの相談に随時対応し、助言している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		随時対応し、助言している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		保護者会を希望する保護者が少ないが、希望する保護者に対して、意見を言い合える場を検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情や要望については、内容に応じて適任の者が対応し、迅速な対応を心掛けている。窓口を設置し対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		毎月通信を発行し、行事や活動予定を保護者に知らせている。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		契約時個人情報の取り扱いの説明を行い、同意を得ている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		分かりやすい説明や連絡手段を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		夏祭り実施時、児童クラブの児童や地域住民の参加を募り、交流を図った。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		委員会を通して職員にマニュアルの周知に努めていく。保護者に対しても各マニュアルを契約時や個別面談時に配布し、伝えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修に参加し、園内研修も行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束が必要な児童がいない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師からの指示書を提出してもらい、保護者からの指示に従い、留意して対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		小さな事例でも報告するようにし、情報の共有に努めている。	